

今回の探検先は…

大阪ガス ガス科学館

1982年10月、日本初のガスとエネルギーの総合科学館として大阪府高石市にある大阪ガス泉北製造所第二工場内に開館した。「地球環境の保全と、エネルギーの有効利用」をテーマに、最新の映像と参加型の展示物を通して天然ガスと地球環境問題について学べる企業広報施設として活動を展開している。

●探検実施日：2009年4月3日(金)



スキッパー
©大阪ガス

ガスのこと、学んで納得
伝える仕事も発見がいっぱい!



◆◆◆ 大阪ガスの情報発信基地 ガス科学館

巨大なタンクが並ぶコンビナート地帯を抜けてバスが入ってきたのは、都市ガスをつくる広い工場。今回の「アイテムしごと探検隊」に選ばれた子供達は、高石市にある「大阪ガス ガス科学館」にやってきた。見学前、子供達は「ガスとガソリンの違いは？」「ガスの良いところはどこ？」などの質問を用意し、話し合いの中ですっかり打ち解けた。バスを降りると真っ先にマスコットのスキッパーくんが駆け寄る。ここで優しい笑顔で迎えてくれたのはアテンダントの大林さん。「まず、ガスのことを勉強しましょう」と案内されて、子供達は館内へと入っていく。



◆◆◆ 楽しく学んで詳しくなれた ガスの知識

まずシアターではロボット達が、映像の中でエネルギーについて分かりやすく解説。天然ガスは、海外で採掘された後マイナス160度に冷やされ、LNG(液化天然ガス)になってタンカーで日本に運ばれる。LNGは気体に戻され、おいをつけたあと、都市ガスとして家庭や工場へ供給される。そして給湯や暖房さらには、空調や発電にも利用されるのだという。次に案内されたのは、マイナス196度の液化窒素を使った実験ステーション。超低温の世界で物質がどのように変化するかを学んだ。特に、ゴムボールが粉々に割れる実験ではみんなびっくり。大林さんのナビゲートで難解な知識も楽しく学ぶことができ、子供達の興味はますます深まっていた。



◆◆◆ 甲子園球場約20個分 広い敷地に施設がギッシリ

ガス科学館を出た後は、バスで工場の敷地を一周。4月1日に運転を開始したばかりの天然ガス発電所の、見上げるような高い煙突の横を抜けると見えてきたのは、LNGが7万5千キロリットルも入るタンク。直線2キロメートルの中央道路は終わりが見えないほど。LNGを海水で温めて気体にする気化器や、おいを付ける付臭設備は初めて見るものだ。とても広い工場だが、工場はコンピュータ制御のため、たった200人ほどで管理しているという説明に驚く子供達。ここでも大林さんはクイズを交えてガイドを務め、子供達はガス科学館で得たことを工場で目の当たりにした。工場の仕事も少し知ることができたようだ。



●第二工場全景

◆◆◆ ガスのことを伝える仕事の大切さ

質疑応答の時間では、館長の斉野さんがガスについて教えてくれた。最近のガス機器には様々な安全機能が備わっており、安心して使うことができるという。他にもガスの便利さ、大阪ガスの歴史などをユーモアいっぱいに語ってくれた。また、大林さんはアテンダントの仕事について、ガスのことを伝えるために工夫しているほか、工場を知るためにいろんな勉強をしていることを教えてくれた。そして、最後に「限りある資源を有効に使う」というメッセージを伝えてくれた。騒いでいた子供達も、分かりやすい説明にいつしか真剣に聞き入って、内容をびっしりノートに書きとめる。お礼を言ってバスに乗り込むと、子供達は見送ってくれた皆さんが見えなくなるまでいつまでも手を振っていた。



◆◆◆ ガスと社会を結びつける仕事

見学から帰ってきて話しかけると、子供達から相次いで感想が飛び出した。中でも仕事については、大林さんの働く姿から学んだことが多かったようだ。斉野さん、大林さんをはじめガス科学館の皆さんがガスのことを教えてくれたおかげで、探検隊は天然ガスを原料に作られた都市ガスの性質を知り、大阪ガスが地球環境に優しいエネルギーを供給していることが分かった。ガス科学館はガスに関する難しい知識を分かりやすく伝えることで、社会とガスを結びつけるという役割を果たしているのだ。この日の探検を通じて子供達は、ガスを身近に感じただけでなく、そこで働いていた人の一生懸命な姿も、しっかりと見てきたことだろう。



隊員の感想コーナー

- 今度からは、エコバッグを使用したり、電気をこまめに消すなど気をつけていきたいです(田口さん)
- 天然ガスは地下でとれること、ガスがくさいのはガスもれしたときのために、おいをつけているのが分かった(津村くん)
- 働いている人が200人と聞いて「少ない人数でみんながんばっているんだ」と思った(溝端くん・山崎さん・坂口くん)
- 石油や天然ガスも私たち人間が使っているの、責任をもたなければと思いました(西川さん)
- 工場では夜も安全を見守って「大変だな」と思いました(下山くん)



●「アイテムしごと探検隊」ご協力のお願い

(株)アイテムでは、訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しております。子供たちが「仕事」について考える機会を一緒に提供して頂けませんか？

お問い合わせは
「アイテムしごと探検隊」事務局まで ☎0120-938-989